



4月の平日夜間・休日診療のご案内

●平日夜間診療・休日夜間診療のお問合せは、下記へお問合せください。
海部南部消防署 ☎52-0119
救急医療情報センター ☎26-1133
海部地区急病診療所 ☎25-5210

休日の診療は以下のとおりです。
 <外科>は、海部郡・津島市・愛西市・弥富市・あま市内の在宅当番医による輪番制で行っています。
 <内科>は、海部地区急病診療所で行っています。

週末の担当病院です

休日診療(外科) 午後5時以降は消防署へお尋ねください。専門外の患者さんは、お断りする場合があります。

診療時間	日曜日・祝日	午前9時～午後5時	
7(日)	浅井外科クリニック	052-441-8002	あま市
14(日)	もりや整形外科	052-445-3711	あま市
21(日)	わたり整形外科	052-449-6699	あま市
28(日)	脳神経外科のぞみクリニック	052-443-5533	あま市
29(月・祝)	やとみ整形外科スポーツクリニック	65-5353	弥富市

5月

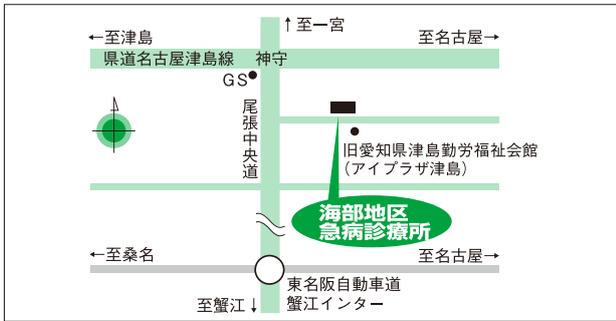
3(金・祝)	鈴木整形外科	28-8838	愛西市
4(土・祝)	駅前ふじたクリニック	052-462-0222	あま市
5(日・祝)	奥村クリニック	22-2600	津島市
6(月・振休)	しらはま整形外科皮膚科クリニック	32-3001	津島市
12(日)	つつみ整形外科	97-0223	蟹江町

海部地区急病診療所 津島市莪原町字郷西37

診療科目	診療日	受付時間
内科 小児科	日曜・祝日	午前9時～11時30分 午後1時～4時30分
歯科	日曜・祝日	午前9時～11時30分 午後2時～4時30分

ホームページ <http://amaq.sakura.ne.jp>

診療の詳細は、村公式ホームページ等でお知らせしています。なお、事前に電話で確認して受診するようにしてください。



病状等のお問合せは、受付時間内に直接お電話してください。

とびしまほっと安心ダイヤル～健康、医療、子育て等～
☎0120-501-970 (24時間対応)

無線放送内容を確認できる音声自動応答サービスについて

同報無線で放送した内容は、次の番号へお電話いただくことで確認できます。聞き逃したとき、聞き取りにくかったときなどにご活用ください。※組み合わせている場合には通話中となる場合があります。

☎0567-52-1451

携帯電話または県外から利用する場合はこちらをご利用ください。※通話料がかかります。

☎0800-200-5656

県内の固定電話からのみ利用可能 ※通話料は無料です。

災害用伝言ダイヤル171を知っておきましょう

●「171」をダイヤルし、利用ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生をしてください。

伝言の録音

171

録音の場合は

1

(×××) (×××) (×××) (×××) (×××) (×××) (×××) (×××) (×××) (×××)

録音

ガイダンスが流れます。

ガイダンスが流れます。

※被災地の方も、被災地以外の方も、被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

ガイダンスが流れます。

(30秒以内)

伝言の再生

171

再生の場合は

2

(×××) (×××) (×××) (×××) (×××) (×××) (×××) (×××) (×××) (×××)

再生

すすめします。(海部歯科医師会)

また、顎関節症は時間の経過とともに自然に改善し、治癒していく場合も報告されています。初期症状のみ場合は治療を行わず様子を見ることもあります。

顎関節症は、顎の関節やその周囲の筋肉、靭帯の異常によって生じ、「顎が痛くなる、口が開かなくなる、口を開くときに音がする」などの症状が現れます。顎関節症は歯科でも比較的症状の高い疾患ですが、病因を特定することが難しいと言われています。硬いものを日常的に好んで食べる、頬杖や食いしばりなどの顎に負担をかける癖や習慣があるなど、精神的なストレスや遺伝的な問題があるなど、多くの病因が絡み合っており発症すると考えられています。

痛みのない初期症状も含めると、日本人の約20%が顎関節症に当てはまると言われており、その病態は軽度から重度まで様々です。

代表的な治療法として、マウスピースにより顎の関節への負担を軽減する方法や、悪い癖や習慣を修正する生活指導、開口の訓練やマッサージなどが挙げられます。これらの治療により顎の痛みが軽減や運動の回復を目指します。

顎関節症は、顎の関節やその周囲の筋肉、靭帯の異常によって生じ、「顎が痛くなる、口が開かなくなる、口を開くときに音がする」などの症状が現れます。顎関節症は歯科でも比較的症状の高い疾患ですが、病因を特定することが難しいと言われています。硬いものを日常的に好んで食べる、頬杖や食いしばりなどの顎に負担をかける癖や習慣があるなど、精神的なストレスや遺伝的な問題があるなど、多くの病因が絡み合っており発症すると考えられています。

顎関節症について

歯の健康講座 その501